

決定  
 會員現在數 昭和19年6月末現在數  
 名譽會員 維持會員 持口數 贊助會員 正會員 准會員 計  
 16 79 203 25 3,190 4,139 7,449  
 定款改正認可 昭和19年4月2日第29回通常總會の際決議せられたる理事7名を9名に増員の件(増員2名は會長指名に一任す)、及び會費を正會員一ケ年10圓を12圓、准會員一ケ年8圓を10圓に値上げの件は何れも19-6-27を以て認可があつた。

第2回	關西地方講演會	19.6.27(火)	9.0~15.40	熱處理關係	250	17%
第3回	九州地方講演會	19.7.15(土)	9.0~15.30	銑鐵關係	150	27%
第4回	東京地方講演會	19.9.16(土)	14.30~19.30	新製鐵(實施決定)法座談會		
第5回	東北地方講演會	19.10.1(日)	9.0~	代用鋼の性質及熱處理(實施決定)		

各地方講演會の盛況

回次	講演會名	日	時	講演者	出席者	地方會員數に對する出席率
第1回	東京地方講演會	19.6.11(日)	9.0~16.05	時 9.0~16.05 時 9.0~16.05	出席者 325名	12%

會 告

日本鐵鋼標準試料下記の表の通り分讓致します、御愛用下さい。

日本鐵鋼標準試料組成分及分讓價格表

(炭素鋼は凡て鹽基性平爐鋼たること)

標準成分	C%	Si%	Mn%	P%	S%	Cu%	Ni%	Cr%	W%	Co%	V%	Mo%	Ti%	Fe%	Al%	摺入重量	1本の價格
品名	炭素	珪素	マンガン	燐	硫黃	銅	ニッケル	クロム	タングステン	コバルト	バナジウム	モリブデン	チタン	鐵	アルミニウム	gr	(圓)
第1號 炭素鋼 C=0.10%	0.11	0.008	0.40	0.019	0.016	0.13	0.02									150	13.00
*第2號 炭素鋼 C=0.20%	0.19	0.008	0.58	0.023	0.019	0.14	0.03									150	13.00
*第3號 炭素鋼 C=0.40%	0.42	0.12	0.67	0.019	0.022	0.10	0.033									150	13.00
*第4號 炭素鋼 C=0.60%	0.60	0.145	0.54	0.019	0.013	0.053	0.016									150	13.00
*第5號 炭素鋼 C=0.80%	0.82	0.08	0.72	0.027	0.025	0.14	0.03									150	13.00
*第6號 風 銑 鐵	目下品切第十二號にて御間に合せ下さい近日出來の見込なし																
*第7號 白銑鐵 C=3.89%	T.C.3.89 G.C.0.58 C.C.3.31	0.656	2.420	0.545	0.064	0.200	0.008									150	14.00
*第8號 クロム鋼	0.390	0.220	0.390	0.023	0.016	0.073	0.094	13.510								150	18.00
第9號 高速度鋼	0.640	0.100	0.090	0.015	0.025	0.140	0.110	3.830	19.330	0.640	0.640	0.370				150	22.00
第10號 ニッケルクロム鋼	0.410	0.170	0.390	0.042	0.038	0.220	3.210	0.840								150	18.00
*第11號 タングステン鋼	0.580	0.250	0.350	0.017	0.011	0.290	0.060	0.120	2.030							150	18.00
第12號 低 磷 銑 鐵 C=4.07%	T.C.4.07 G.C.3.91 C.C.0.16	2.50	0.77	0.024	0.004	0.003	痕跡	痕跡					0.12			150	14.00
第13號 フェロマンガン	6.67	0.68	75.34	0.325	0.002	0.09	0.15	0.17			0.03		0.06	15.78	0.02	150	25.00
第14號 フェロシリコン	0.08	76.90	0.22	0.032	0.007	0.14	0.13	0.05			痕跡		0.24	18.35	2.48	100	18.00
第15號 フェロクロム	0.18	2.40	0.07	0.072	0.004	0.12	0.26	65.33		0.05	0.02			31.07	0.03	150	25.00
第16號 フェロタンングステン	0.03	0.59	1.16	0.020	0.004	0.06	痕跡	痕跡	76.67		痕跡		0.03	18.86	0.96	150	32.00
第17號 フェロチタン	6.80	5.21	0.82	0.059	0.015	0.06	0.02	0.11					15.52	64.89	0.49	150	25.00
第18號 フェロモリブデン	3.49	1.85	0.10	0.050	0.054	0.10	0.09	0.24	0.008		痕跡	44.63	0.03	49.73	痕跡	150	32.00
第19號 フェロバナジウム	0.06	0.35	0.13	0.046	0.032	0.12	痕跡	0.02			39.61	0.07		57.44	0.69	150	32.00
第20號 フェロホスホル	0.08	0.54	0.26	23.42	0.005	0.20	0.02	0.09		痕跡			0.98	74.40		150	25.00
標準成分	T.Fe%	SiO <sub>2</sub> %	Mn%	P%	S%	Cu%	CuO%	Al <sub>2</sub> O <sub>3</sub> %	MgO%	Ti%	Cr%	C.W%	1本の價格				
品名	全鐵	珪酸	マンガン	燐	硫黃	銅	ライム	アルミナ	マグネシヤ	チタン	クロム	化合物					
第21號 鐵 鑛 石	61.32	6.37	0.12	0.072	0.590	0.43	0.30	1.29	0.82	0.05	0.005	2.67	26.00				
第22號 マンガン鑛石	3.19	6.14	49.23	0.056	0.015	0.006		6.18				4.72	20.00				

備考 \*印は品切れで目下製作中です。

# ◎ 會 告

## 科學技術者の創意募集に就て

緊迫せる戦局を打開し完勝を期するため政府に於ては豫てより國民創意の昂揚吸収を行ひ卓抜なる創意の急速戦力化に努めつゝあつたが、科學技術者の創意はその最も的確なる効果を發揮し得る點に於て、到底一般國民の創意とは比すべきではなく今日國家が科學技術者に期待しつゝある處極めて大なるものがある。

技術院では今般科學技術専門家の智能動員の徹底を期し、その卓抜優秀なる創意を募り速かに之が活用戦力化を圖ることになつた。仍て本會に於ては技術院の全面的な指導並に全日本科學技術團體聯合會の援助の下に、關係學協會と協力し全國の科學技術者に呼びかけ創意昂揚運動を展開し、各位の智能報國の熱誠に應へ以て國家の要請に副はんとするものである。

左の募集要項参照の上奮つて御提案あらんことを切望する。

### 科學技術者創意募集要項

#### 1. 創意の内容

(イ) 創意は技術上の隘路打開に關するものは勿論、研究途上にあるもの、又は研究の片鱗に過ぎないもの或は單なる着想でも結構である。且その専門事項たると専門外の分野に屬する事項たるを問はず凡そ戦力増強に役立ち得ると思はれるものならば、兵器に關するものでも、生産に關するものでも又は國民生活に關するものでもよいから斬新卓抜なるものを廣く提案されん事を期待する。

(ロ) 發明考案にして既に特許又は實用新案に登録せられてあるものは之を除外する。

(ハ) 創意着想の手掛りとして別掲の如き課題を例示することとした。勿論参考とする範圍のものに過ぎないが、これに依つて募集に對する大體の意圖並に方向を察知されたい。

#### 2. 創意の申出

(イ) 創意の申出には別段様式を定めない。有合せの用紙でよいから1件宛書面を以て提出すること。

(ロ) 申出は本學會長へ提出すること。但し本學會會員以外の場合は社団法人全日本科學技術團體聯合會（東京都芝區新橋3丁目2番地4）——略稱、全科技聯——會長へ提出すること。

#### 3. 創意案件の取扱

(イ) 受理した案件は本會に於て番號を附し受理の通知をなす。全科技聯受理の場合も同様である。

(ロ) 申出案件に就ては秘密取扱となし濫りに他に發表するやうな事はない。

#### 4. 締切期日

昭和19年10月末日

#### 5. 創意案件の審査

(イ) 受理した案件は本會に於て分類整理の上、全科技聯内に各専門部會毎に設置される審査委員會に附す。必要に應じては他の専門機關とも協力審査の周到完璧を期する。

(ロ) 審査の結果は直ちに之を技術院に達し、技術院に於ては之が採擇の決定をする。

#### 6. 活用の方法

採擇された案件は、その内容に應じ技術院に於て夫々軍當局、關係官廳、研究所、生産現場等必要なる處へ示達して、試作試験乃至は生産に移す等急速戦力化の方途を講ずる。

#### 7. 報奨及び表彰

(イ) 採擇された案件に對しては技術院に於て報奨を行ひこの中優秀なるものに對しては、本會或は關係學會に於ても表彰を行ふ。

(ロ) 採擇された案件中實施に移した結果、戦力増強に顯著なる貢獻をなした創意に就ては、將來技術院に於て之を表彰する事になつてゐる。

### 課 題 例 示

採鑛冶金關係

1. 砂鐵ノ簡易採集法
2. 簡易製鐵法
3. 寒冷地ニ於ケル石炭鑛石ノ運搬法
4. 粉鑛（鐵鑛其他）ノ簡易塊成法（熔鑛爐製入原料トスル爲）
5. 回收鐵製品ノ碎斷方法
6. 冶金用（電氣製鋼用、アルミニウム電解用等）炭素質電極ノ節約法
7. 金屬材料返リ材ノ減少及活用法
8. 切削用油ノ節約法、代用品又ハ回收方法
9. 非金屬質永久鑄型
10. 鋼管ヲ用ヒザル油井掘鑿法
11. 混水油層ノ採油法
12. ボーキサイト綿狀鐵鑛褐鐵鑛等ノ珪酸分離法
13. 含水鑛物（ボーキサイト、赤泥、褐鐵鑛等）ノ簡易脫水法

## 會 告

例年6月會費請求のところ、用紙印刷不如意のため非常に後れ、10月下旬請求（準會員は12月請求）致します故、11月中には必ず御納入下さい。金額は去る4月の總會の決議に依り正會員1ヶ年12圓、準會員10圓となりました。今年の會費未納の方はこの際御完納下さいませう御願ひ致します。

日 本 鐵 鋼 協 會

## 會 告

用紙節約其他の時局の要請に基き出版態勢確立の爲、當局が出版物に戦時規格版（A列5、6；B列5、6の四種）を採用するに至つた事は、會員諸君が新聞紙上其他で既に御承知の事と存じます。従つて會誌「鐵と鋼」もこれに順應することになり、現在のA列4でなくなり昭和7年第18巻までの誌面の大きさ（規格のB5に當る）に復歸する事に成ると思ひます。縱令誌面は縮小するとも、質に於ては依然として斯界の最高權威たるに變りはなく、量に於ても誌面の集約的使用其他により、決して従來のものに比べて遜色のないものに致しますから、會員諸君は何卒御諒承下さい。

日 本 鐵 鋼 協 會